

商品名 歯科用ホルマリンクレゾール 添付文書情報

一般名	ホルマリン・クレゾール液	薬価	0.00
規格	1mL	区分	（劇）
製造メーカー	日本歯科薬品	販売メーカー	日本歯科薬品
薬効	2. 個々の器官系用医薬品 27. 歯科口腔用薬 273. 歯科用鎮痛鎮静剤（根管及び齦窩消毒剤を含む） 2730. 歯科用鎮痛鎮静剤（根管及び齦窩消毒剤を含む）		

歯科用ホルマリンクレゾールの組成・成分

100mL中

ホルマリン：40mL

クレゾール：40mL

歯科用ホルマリンクレゾールの用法・用量

適量を根管内へ挿入し、仮封する。

歯科用ホルマリンクレゾールの効能・効果

根管の消毒。

歯科用ホルマリンクレゾールの副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

- 重大な副作用：
 - ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）：蕁麻疹、そう痒、呼吸困難、血圧低下等の異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。
- その他の副作用：過敏症：（頻度不明）過敏症状。

歯科用ホルマリンクレゾールの使用上の注意

【禁忌】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。

【重要な基本的注意】

本剤は、組織刺激性が強いため、歯根膜炎を起こすことがあるので、注意して使用すること。

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 患歯根端部炎症性病巣（患歯根尖部炎症性病巣）のある患者：症状が悪化するおそれがある。

【相互作用】

2. 併用注意：本剤を塩化鉄＜3＞液、酸化クロム＜6＞液、硝酸銀液等と併用する場合には、変色又は沈殿を生じ、薬効が減じるので注意すること。

【適用上の注意】

1. 薬剤使用時の注意：
 - 1) 軟組織に対し局所作用をあらわすおそれがあるので、口腔粘膜等に付着させないように配慮すること（したがって、使用に際しては、ラバーダム防湿等を行うこと）。
 - 2) 本剤が口腔粘膜や皮膚等に付着した場合は、直ちに水洗させること。本剤が皮膚等に付着したまま放置すると、炎症を起こし、化学的損傷を生じることがあるので、その場合は火傷の治療に準じて処置するか、皮膚科医に相談すること。
 - 3) 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、なお異常を認める場合は眼科医に相談すること。

【取扱い上の注意】

使用後は密栓し、直射日光を避けて保管すること。

【保管上の注意】

室温保存。

